

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論理国語	2	2	普通科両コース共通	必修

科目の目標	<p>言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b>「論理国語」(大修館)</p> <p><b>副教材</b>「言語文化」(筑摩)、「大学入試共通テスト対応版 LT 現代文2」(浜島)、「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン」(桐原)、「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン 書き取り演習ノート」(桐原)、「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館)、「読解を深める現代文単語 評論・小説 三訂版」(桐原)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画

時期	No.	単元名	教材(予定)	
4~6月 (前期中間 考査まで)	1	世界・言葉・私	対話の精神(平田オリザ)	評論
	2	芸術と文化	ミロのヴィーナス(清岡卓行)	評論
	3	共同体のいま	コミュニティから見た日本(広井良典)	実用文
6~9月 (前期末考査 まで)	4	練り上げられた思考	いにしへよりも後世のまされること(玉勝間・本居宣長)	評論(古文)
	5	科学の可能性	自己をモデル化する知能(石黒浩)	評論
	6	日本語の多様性	敬語の自覚、他者への自覚(橋本治)	評論
10~12月 (後期中間 考査まで)	7	思考の枠組み	スキーマと記憶(今井むつみ)	実用文
	8	社会の原点	社会的実在としての言語・法・貨幣(岩井克人)	評論
12~3月 (学年末考査 まで)	9	環境へのまなざし	生物多様性の恩恵	評論
	10	グローバル化の先へ	グローバリゼーションと文化(渡辺靖)	評論

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論説国語	2	2	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	<p>アカデミックな見方考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な日本語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 「論理国語」(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 「言語文化」(筑摩)、「大学入試共通テスト対応版 LT 現代文2」(浜島)、「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン」(桐原)、「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン 書き取り演習ノート」(桐原)、「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館)、「読解を深める現代文単語 評論・小説 三訂版」(桐原)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画

時期	No.	単元名	教材(予定)	
4~6月 (前期中間 考査まで)	1	世界・言葉・私	対話の精神(平田オリザ)	評論
	2	芸術と文化	ミロのヴィーナス(清岡卓行)	評論
	3	共同体のいま	コミュニティから見た日本(広井良典)	実用文
6~9月 (前期末考査 まで)	4	練り上げられた思考	いにしへよりも後世のまされること(玉勝間・本居宣長)	評論(古文)
	5	科学の可能性	自己をモデル化する知能(石黒浩)	評論
	6	日本語の多様性	敬語の自覚、他者への自覚(橋本治)	評論
10~12月 (後期中間 考査まで)	7	思考の枠組み	スキーマと記憶(今井むつみ)	実用文
	8	社会の原点	社会的実在としての言語・法・貨幣(岩井克人)	評論
12~3月 (学年末考査 まで)	9	環境へのまなざし	生物多様性の恩恵	評論
	10	グローバル化の先へ	グローバリゼーションと文化(渡辺靖)	評論

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
文学総合	3	2	普通科両コース共通	必修

科目の目標	<p>言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 「文学国語」(数研)、「精選 古典探究」(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 「新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ2.5」(数研)、「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館)、「読解を大切に 体系古典文法 学習ノート 三訂版」(数研出版)、「九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法」(数研出版)、「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版」(桐原書店)、「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版 チェックノート 基礎編」(桐原書店)、「みるみる覚える古文単語 300+敬語 30 三訂版」(いっずな書店)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画

時期	No.	単元名	教材(予定)
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文/随筆(一)	花は盛りに(徒然草・兼好)
	2	古文/随筆(二)	中納言参りたまひて(枕草子・清少納言)
	3	漢文/故事・逸話	糟糠之妻
6～9月 (前期末考査 まで)	4	古文/物語(三)	競べ弓(大鏡)
	5	現代文/小説(一)	山月記(中島敦)
	6	漢文/史伝	鴻門の会(史記・司馬遷)
10～12月 (後期中間 考査まで)	7	古文/物語(二)	若紫との出会い(源氏物語・紫式部)
	8	文章	桃花源記(陶潜)、または捕蛇者説(柳宗元)
12～3月 (学年末考査 まで)	9	現代文/小説(二)	こころ(夏目漱石)
	10	古文/日記	門出、または源氏の五十余巻(更級日記・菅原孝標女)
	11	思想	論語、孟子、老子

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
文学総合研究	3	2	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	<p>アカデミックな見方考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な日本語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 「文学国語」(数研)、「精選 古典探究」(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 「新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ2.5」(数研)、「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館)、「読解を大切に 体系古典文法 学習ノート 三訂版」(数研出版)、「九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法」(数研出版)、「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版」(桐原書店)、「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版 チェックノート 基礎編」(桐原書店)、「みるみる覚える古文単語 300+敬語 30 三訂版」(いっぴな書店)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画

時期	No.	単元名	教材(予定)
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文/随筆(一)	花は盛りに(徒然草・兼好)
	2	古文/随筆(二)	中納言参りたまひて(枕草子・清少納言)
	3	漢文/故事・逸話	糟糠之妻
6～9月 (前期末考査 まで)	4	古文/物語(三)	競べ弓(大鏡)
	5	現代文/小説(一)	山月記(中島敦)
	6	漢文/史伝	鴻門の会(史記・司馬遷)
10～12月 (後期中間 考査まで)	7	古文/物語(二)	若紫との出会い(源氏物語・紫式部)
	8	文章	桃花源記(陶潜)、または捕蛇者説(柳宗元)
12～3月 (学年末考査 まで)	9	現代文/小説(二)	こころ(夏目漱石)
	10	古文/日記	門出、または源氏の五十余巻(更級日記・菅原孝標女)
	11	思想	論語、孟子、老子

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
地理総合	2	2	両学科両コース共通	必修

科目の目標	<p>①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	『私たちの地理総合 改定版』(山川出版) 『新詳高等地図』(帝国書院) 『新詳地理資料 COMPLETE 2026』(帝国書院)
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題	○	○	
小テスト	○		
振り返りシート			○

指導計画

時期	内容のまとめり	NO	単元のまとめり
前期	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界	1	1章 地図とGISの活用 1節 球面上の世界 1章 地図とGISの活用 2節 国家の領域と領土問題 1章 地図とGISの活用 3節 国内や国家間の結びつき
		2	1章 地図とGISの活用 4節 日常生活のさまざまな地図
	B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解	3	2章 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化
		4	2章 生活文化の多様性と国際理解 2節 産業の発展と生活文化
後期	B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解	5	2章 生活文化の多様性と国際理解 3節 言語・宗教と生活文化
		5	2章 生活文化の多様性と国際理解 3節 言語・宗教と生活文化
		5	2章 生活文化の多様性と国際理解 3節 言語・宗教と生活文化
		6	2章 生活文化の多様性と国際理解 4節 グローバル化の進展と生活文化
	B 国際理解と国際協力 (2) 地球的課題と国際協力	7	3章 地球的課題と国際協力 1節 人口・食料問題
		8	3章 地球的課題と国際協力 2節 居住・都市問題
		9	3章 地球的課題と国際協力 3節 資源・エネルギー問題
		10	3章 地球的課題と国際協力 4節 地球環境問題
	C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災	11	4章 生活圏の諸課題 1節 自然環境と防災
		C 持続可能な地域づくりと私たち (2) 生活圏の調査と地域の展望	12

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
日本史探究	3	2	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書『詳説日本史』(山川出版社)</p> <p>図説『図説日本史通覧』(帝国書院)</p> <p>副教材『Winning COM.-PASS 日本史の整理と演習』(東京法令出版)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
振り返りシート		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【導入】イントロダクション, 日本の歴史を通観する
	5	遠足	【第1部】原始・古代の日本と東アジア 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章 律令国家の形成
	6	前期中間考査・球技大会	
	7	実力テスト・夏季補習	
	8	夏課題確認テスト	
	9	文化祭・前期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	【第2部】中世の日本と世界第 第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家・社会の展開 第3章 中世の国家・社会の変容
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査・冬季補習	
	1	冬課題テスト	【第3部】近世の日本と世界 第1章 東アジア世界の変容と天下統一
	2		
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
世界史探究	3	2	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、そうごの関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書『詳説 世界史』(山川出版社)</p> <p>図説『最新世界史図説 タペストリー』(帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
授業内課題		○	○
小テスト(単元毎)	○		

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第1章 文明の成立と古代文明の特質
	5	遠足	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界
	6	前期中間考査・球技大会	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開
	7	実力テスト・夏季補習	第4章 西アジア世界と地中海周辺国家形成
	8	夏課題テスト	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成
	9	文化祭・前期末考査	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向
後期	10	秋季休業・体育祭	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開
	11	実力テスト	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国
	12	後期中間考査・冬季補習	第9章 大交易・大交流の時代
	1	冬課題テスト	第10章 アジアの諸帝国の繁栄
	2		
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学Ⅱ	4	2	両学科人文・社会科学コース	必修

科目の目標	図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分の考え、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材	教科書： 数学Ⅱ(数研出版) 副教材： 項目別学習ノート ベクトル(数研出版) サクシード数学Ⅱ+B+C [数列 統計的な推測 ベクトル](数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)
定期考査の実施	前期中間(◎) 前期末(○) 後期中間(○) 学年末(○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	
	7	実力テスト・夏季進学補習	第4章 三角関数
	8	夏課題確認テスト	第5章 指数関数・対数関数
	9	文化祭・前期末考査	数学B 第1章 数列
後期	10	秋季休業・体育祭	数学C 第1章 平面上のベクトル
	11	実力テスト	第2章 空間のベクトル
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法
	2		
	3	学年末考査	数学B 第2章 統計的な推測

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学B	2	2	両学科人文・社会科学コース	必修

科目の目標	数列、統計的な推測、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材	教科書： 数学B(数研出版) 副教材： 項目別学習ノート ベクトル(数研出版) 改訂版 短期完成 統計的な推測ノート(数研出版) サクシード数学Ⅱ+B+C [数列 統計的な推測 ベクトル](数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)
定期考査の実施	前期中間( × ) 前期末( ○ ) 後期中間( ○ ) 学年末( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	第4章 三角関数
	7	実力テスト・夏季進学補習	第5章 指数関数・対数関数
	8	夏課題確認テスト	
	9	文化祭・前期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	数学C 第1章 平面上のベクトル
	11	実力テスト	第2章 空間のベクトル
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法
	2		
	3	学年末考査	数学B 第2章 統計的な推測

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学Ⅱ	4	2	普通科自然科学コース	必修

科目の目標	図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分の考え、ベクトル、複素数平面、式と曲線について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材	教科書： 数学Ⅱ， 数学C(数研出版) 副教材： サクシード数学Ⅱ+B+C[数列 統計的な推測 ベクトル] 数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル] 数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版)
定期考査の実施	前期中間(◎) 前期末(○) 後期中間(○) 学年末(○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数・対数関数
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	
	7	実力テスト・夏季進学補習	数学B 第1章 数列
	8	夏課題確認テスト	
	9	文化祭・前期末考査	数学C 第1章 平面上のベクトル
後期	10	秋季休業・体育祭	第2章 空間のベクトル
	11	実力テスト	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法
	12	後期中間考査・冬季進学補習	数学B 第2章 統計的な推測
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	数学C 第3章 複素数平面
	2		第4章 式と曲線
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学B	2	2	普通科自然科学コース	必修

科目の目標	数列、統計的な推測、ベクトル、複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材	教科書： 数学B, 数学C(数研出版) 副教材： 改訂版 短期完成 統計的な推測ノート(数研出版) サクシード数学Ⅱ+B+C[数列 統計的な推測 ベクトル] 数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル] 数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版)
定期考査の実施	前期中間( × ) 前期末( ○ ) 後期中間( ○ ) 学年末( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式
	5	遠足	第4章 三角関数
	6	前期中間考査・球技大会	第5章 指数関数・対数関数
	7	実力テスト・夏季進学補習	数学B 第1章 数列
	8	夏課題確認テスト	
	9	文化祭・前期末考査	数学C 第1章 平面上のベクトル
後期	10	秋季休業・体育祭	第2章 空間のベクトル
	11	実力テスト	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法
	12	後期中間考査・冬季進学補習	数学B 第2章 統計的な推測
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	数学C 第3章 複素数平面
	2		第4章 式と曲線
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学研究	6	2	アカデミア科自然科学コース	必修

科目の目標	図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分の考え、数列、統計的な推測、ベクトル、複素数平面、式と曲線について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材	教科書： 数学Ⅱ, 数学B, 数学C(数研出版) 副教材： 改訂版 短期完成 統計的な推測ノート(数研出版) サクシード数学Ⅱ+B+C[数列 統計的な推測 ベクトル] 数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル] 数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版)
定期考査の実施	前期中間(◎) 前期末(◎) 後期中間(◎) 学年末(◎)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数・対数関数
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	
	7	実力テスト・夏季進学補習	数学B 第1章 数列
	8	夏課題確認テスト	
	9	文化祭・前期末考査	数学C 第1章 平面上のベクトル
後期	10	秋季休業・体育祭	第2章 空間のベクトル
	11	実力テスト	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法
	12	後期中間考査・冬季進学補習	数学B 第2章 統計的な推測
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	数学C 第3章 複素数平面
	2		第4章 式と曲線
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
物理基礎 $\alpha$	2	2	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	観察・実験・学習を通じて、物理学と人間生活の関わりを意識しながら運動やエネルギー、波動などへの興味を深め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を基に科学的な見方や考え方を養う。
使用教材	教科書：高等学校 物理基礎 (啓林館) 問題集：センサー物理基礎 4th Edition (啓林館) 新課程 フォローアップドリル物理基礎 ①運動の表し方・力・運動方程式 (数研出版) 新課程 フォローアップドリル物理基礎 ③波・電気
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
振り返りシート		○	○
宿題	○		○
実験レポート	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第1部 物体の運動とエネルギー 序章 物理学とは 第1章 物体の運動
	5	G.W・遠足	第2章 力と運動
	6	前期中間考査 ・球技大会	
	7	実力テスト・夏季進学補習	第3章 仕事とエネルギー
	8	夏課題確認テスト	第2部 熱 第1章 熱とエネルギー
	9	文化祭・前期期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査	
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第2章 交流と電磁波
	2	実力テスト	第5部 物理と私たちの生活 第1章 エネルギーの利用 第2章 物理学が拓く世界
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
物理基礎 $\beta$	3	2	普通科自然科学コース	選択

科目の目標	観察・実験・学習を通じて、物理学と人間生活の関わりを意識しながら運動やエネルギー、波動などへの興味を深め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を基に科学的な見方や考え方を養う。
使用教材	教科書：高等学校 物理基礎 (啓林館) 参考書：チャート式シリーズ 新物理 物理基礎・物理 (数研出版) 問題集：センサー総合物理 3rd Edition (啓林館)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
振り返りシート		○	○
宿題	○		○
実験レポート	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第1部 物体の運動とエネルギー 序章 物理学とは 第1章 物体の運動
	5	G.W・遠足	第2章 力と運動
	6	前期中間考査 ・球技大会	第3章 仕事とエネルギー
			第2部 熱 第1章 熱とエネルギー
	7	実力テスト・夏季進学補習	第3部 波 第1章 波の性質
	8	夏課題確認テスト	第2章 音
9	文化祭・前期期末考査		
後期	10	秋季休業・体育祭	発展1 波動関数
	11	実力テスト	発展2 ドップラー効果
	12	後期中間考査	発展3 光
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	発展4 平面内の運動・放物運動
			発展5 剛体に働く力の釣合い
	2	実力テスト	第4部 電気と磁気 静電気・交流・電磁波 第5部 物理と私たちの生活 エネルギーの利用・物理学が拓く世界
3	学年末考査		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
物理基礎 $\beta$	3	2	アカデミア科自然科学コース	選択

科目の目標	観察・実験・学習を通じて、物理学と人間生活の関わりを意識しながら運動やエネルギー、波動などへの興味を深め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を基に科学的な見方や考え方を養う。
使用教材	教科書：高等学校 物理基礎 (啓林館) 参考書：チャート式シリーズ 新物理 物理基礎・物理 (数研出版) 問題集：センサー総合物理 3rd Edition (啓林館) 物理のエッセンス 力学・波動、熱・電磁気・原子 (河合出版)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
振り返りシート		○	○
宿題	○		○
実験レポート	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第1部 物体の運動とエネルギー 序章 物理学とは 第1章 物体の運動
	5	G.W・遠足	第2章 力と運動 第3章 仕事とエネルギー
	6	前期中間考査 ・球技大会	第2部 熱 第1章 熱とエネルギー
	7	実力テスト・夏季進学補習	第3部 波 第1章 波の性質
	8	夏課題確認テスト	第2章 音
	9	文化祭・前期期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	発展1 波動関数
	11	実力テスト	発展2 ドップラー効果
	12	後期中間考査	発展3 光
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	発展4 平面内の運動・放物運動
	2	実力テスト	発展5 剛体に働く力の釣合い
	3	学年末考査	第4部 電気と磁気 静電気・交流・電磁波 第5部 物理と私たちの生活 エネルギーの利用・ 物理学が拓く世界

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
化学	2	2	両学科自然科学コース	必修

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
使用教材	教科書：化学(数研出版) 問題集：2023 新課程 セミナー化学基礎+化学(第一学習社)、サイエンスビュー 新化学資料 新課程対応(実教出版)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
ノート、ワークシートの記述	○	○	○
家庭学習課題	○	○	○
授業内小テスト	○		
レポート・パフォーマンス課題		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造
	5	遠足	第2章 物質の状態変化
	6	前期中間考査・球技大会	第3章 気体
	7	実力テスト・夏季進学補習	
	8	夏課題確認テスト	第4章 溶液
	9	文化祭・前期期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第2章 電気分解
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	
	2	実力テスト	第3章 化学反応と速さとしくみ
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
生物基礎	2	2	両学科人文・社会科学コース	必修

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、観察・実験を通して生物や生命現象を科学的に探究する能力と態度を養い、生物学の基本的な概念や原理・法則を説明できる科学的な見方や考え方を身に付ける。生物の共通性と多様性、階層性の視点で、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について知る。
使用教材	教科書「生物基礎」(数研出版) 問題集「新課程 リードα生物基礎」(数研出版)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実験観察レポート	○	○	○
小テスト	○		○

指導計画

時期	単元	活動
前期中間	第1編 生物の特徴 1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 エネルギーと代謝 3節 呼吸と光合成	顕微鏡の使い方の実験 細胞観察実験 問題演習 単元テスト
前期末	2章 遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の複製と分配 3節 遺伝情報の発現 第2編 ヒトの体内環境の維持 3章 ヒトの体内環境の維持 1節 体内での情報伝達と調節	DNAの抽出実験 細胞分裂の観察実験 問題演習 内分泌腺の確認テスト 単元テスト
後期中間	2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫のはたらき	問題演習 単元テスト
学年末	第3編 生物の多様性と生態系 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 植生の分布とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	バイオームの確認テスト 問題演習 単元テスト

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
生物基礎α	2	2	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、観察・実験を通して生物や生命現象を科学的に探究する能力と態度を養い、生物学の基本的な概念や原理・法則を説明できる科学的な見方や考え方を身に付ける。生物の共通性と多様性、階層性の視点で、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について知る。
使用教材	教科書「生物基礎」(数研出版) 問題集「新課程 リードα生物基礎」(数研出版)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実験観察レポート	○	○	○
小テスト	○		○

指導計画

時期	単元	活動
前期中間	第1編 生物の特徴 1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 エネルギーと代謝 3節 呼吸と光合成	顕微鏡の使い方の実験 細胞観察実験 問題演習 単元テスト
前期末	2章 遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の複製と分配 3節 遺伝情報の発現 第2編 ヒトの体内環境の維持 3章 ヒトの体内環境の維持 1節 体内での情報伝達と調節	DNAの抽出実験 細胞分裂の観察実験 問題演習 内分泌腺の確認テスト 単元テスト
後期中間	2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫のはたらき	問題演習 単元テスト
学年末	第3編 生物の多様性と生態系 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 植生の分布とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	バイオームの確認テスト 問題演習 単元テスト

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
生物基礎β	3	2	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、観察・実験を通して生物や生命現象を科学的に探究する能力と態度を養い、生物学の基本的な概念や原理・法則を説明できる科学的な見方や考え方を身に付ける。遺伝情報を維持、伝達する物質である核酸(DNA、RNA)と生命活動を担う物質であるタンパク質を細胞の生命活動と関連付けて理解する。生物の共通性と多様性、階層性の視点で、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について知る。
使用教材	教科書「生物基礎」(数研出版) 問題集「新課程 リードα生物基礎」(数研出版) 参考書「三訂版 フォトサイエンス 生物図録」(数研出版)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実験観察レポート	○	○	○
小テスト	○		○

指導計画

時期	単元	活動
前期中間	第1編 生物の特徴 1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 エネルギーと代謝 3節 呼吸と光合成 2章 遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の複製と分配 3節 遺伝情報の発現	顕微鏡の使い方の実験 細胞観察実験 問題演習 単元テスト  DNAの抽出実験 細胞分裂の観察実験
前期末	第2編 ヒトの体内環境の維持 3章 ヒトの体内環境の維持 1節 体内での情報伝達と調節 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫のはたらき 第3編 生物の多様性と生態系 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移	内分泌腺の確認テスト 問題演習 単元テスト
後期中間	2節 植生の分布とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全 第1編 生物の進化 1章 生物の進化① 1節、生命の起源と生物の進化	バイオームの確認テスト 問題演習 単元テスト
学年末	1章 生物の進化② 2節 遺伝子の変化と多様性 3節 遺伝子の組み合わせの変化 4節 進化のしくみ 1章 生物の進化③ 5節 生物の系統と進化 6節 人類の系統と進化 第2編 生命現象と物質 2章 細胞と分子 1節 生命現象と細胞	問題演習      単元テスト  問題演習

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
地学基礎	2	2	両学科人文・社会科学コース	必修

科目の目標	地学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
使用教材	教科書「地学基礎 改訂版」(啓林館) 問題集「センサー 地学基礎 3rd Edition」(啓林館)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実験観察・災害レポート	○	○	○
ワークシート	○	○	○

指導計画

時期	単元	活動
前期中間	第1部 固体地球とその活動 第1章 地球 第1節 地球の概観 第2節 地球の内部構造 第2章 活動する地球 第1節 プレートテクトニクスと地球の活動 第2節 地震	岩石密度測定の実験
前期末	第3節 火山活動と火成岩の形成 第2部 大気と海洋 第1章 大気と海洋 第1節 大気圏 第2節 水と気象 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気の大循環 第3節 海水の循環	火山灰の観察
後期中間	第3章 日本の天気 第1節 日本の位置 第2節 冬から春の天気 第3節 夏から秋の天気 第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第1節 宇宙の誕生 第2節 太陽系の誕生 第2章 地球と生命の進化 第1節 先カンブリア時代	気象に関する調査・発表 天体に関する調査・発表
学年末	第2節 顕生代 第3章 地球史の読み方 第1節 地層からわかること 第2節 地層の形成 第3節 地層の読み方 第4部 自然との共生 第1節 地球環境と人類 第2節 地震災害・火山災害 第3節 気象災害 第4節 災害と社会 第5節 人間生活と地球環境の変化	化石の観察 古生物に関する調査・発表

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (保健体育科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
体育	2	2	両学科両コース共通	必修

科目の目標	(1) 種目の特性を理解し、運動することを楽しむ (2) 学習の決まりを守る (3) 積極的に行動し、仲間と協力して楽しんで学習する (4) 体力向上を図る (5) 計画的に意欲を持って運動する態度を養う (6) 生涯スポーツに役立つ技能と知識を習得する
使用教材	大修館書店 現代高等保健体育
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本練習・発展練習	○		
試合方法の把握		○	○
実技テスト	○		
振り返りシート	○	○	○
授業内の態度			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		※施設の都合上以下の種目を年間通して講座ごとにローテーションで実施し、調整しながら活動していく。
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	新体力テスト
	7	実力テスト・夏季進学補習	体づくり運動
	8	夏課題確認テスト	バレーボール
	9	文化祭・前期末考査	バスケットボール
後期	10	秋季休業・体育祭	ソフトボール
	11	実力テスト	ダンス
	12	後期中間考査・冬季進学補習	マット運動
	1	冬課題確認テスト	バドミントン
	2		テニス
	3	学年末考査・研修旅行	サッカー 陸上 体育理論 ※夏季猛暑時

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (保健体育科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
保健	1	2	両学科両コース共通	必修

科目の目標	(1) 健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を体系的に学習する。 (2) 個人や集団の中で自らすすんで健康を保持増進する能力や態度を養う。
使用教材	大修館書店 現代高等保健体育
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( ○ )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
保健のノート	○	○	○
ポスター	○	○	
授業内の態度			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		ライフステージと健康
	5	遠足	思春期と健康 性意識と性行動の選択
	6	前期中間考査・球技大会	妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶
	7	実力テスト・夏季進学補習	結婚生活と健康 中高年期と健康
	8	夏課題確認テスト	働くことと健康 労働災害と健康
	9	文化祭・前期末考査	健康的な職業生活  上記の単元から1番興味関心のある単元を選択し、調べ学習・ポスターを作成する。

	月	主な行事予定	単元予定
後 期	10	秋季休業・体育祭	大気汚染と健康
	11	実力テスト	水質汚濁、土壌汚染と健康
	12	後期中間考査・冬季進 学補習	環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備
	1	冬課題確認テスト	食品の安全性
	2		食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用
	3	学年末考査・研修旅行	さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加  上記の単元から1番興味関心のある単元を選択し、調べ学習・ポスターを 作成する。

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
音楽Ⅰ	2	2	両学科両コース共通	選択

科目の目標	音楽の幅広い活動をとおして、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力、生涯にわたり音楽を愛好する心身を育むとともに、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
使用教材	MOSA 1 (教育芸術社)
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技テスト	○	○	○
提出課題	○	○	○
振り返りシート		○	○

指導計画

前期	4, 5, 6, 7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・ピアノ基礎</li> <li>・ギター基礎</li> <li>・歌唱 (伊・独・仏歌曲)</li> <li>・リズムアンサンブル (打楽器)</li> </ul>
	夏季休 8, 9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由演奏練習 リサーチ, 練習</li> </ul>
後期	10, 11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由演奏練習 練習</li> <li style="padding-left: 20px;">中間発表</li> <li style="padding-left: 20px;">発表会</li> <li style="padding-left: 20px;">鑑賞会</li> </ul>
	1~3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> <li>・創作</li> <li>・リズムアンサンブル (カップス)</li> <li>・箏</li> </ul>

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
美術 I	2	2	両学科両コース共通	選択

科目の目標	美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
使用教材	教科書「美術 I」(日本文教出版)
定期考査の実施	なし

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技	○	○	○
鑑賞	○	○	○
夏季休暇レポート		○	○
制作レポート	○	○	○

指導計画

前期	4,5月	オリエンテーション ① 身近なものを描く「デッサン・ドローイング」制作。 身の回りのものを見つめ直し描く。
	6月	② 版で表す 銅版画で「蔵書票」制作。 銅版画の技法を生かした絵と文字の構成で、独自のデザインを考える。 版画(鑑賞)
	夏季休	③ 鑑賞レポート(宿題)
	8月	④ 「蔵書票」制作 続き
後期	9月	⑤ 人物を描く「肖像画」を油絵で制作する。 描く人物のイメージや心情を表す。 西洋美術史(鑑賞)
	12月	⑥ サイアノタイプで「クリスマスカード」制作。(写真表現) 身の回りのものの造形的な魅力を感じ取り、光や影の写り方を理解し制作する。
	2~3月	⑦ 抽象彫刻で表す「キャンドル」制作。 感情やイメージを象徴する形や色彩を考え、抽象彫刻に表す。

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
工芸 I	2	2	両学科両コース共通	選択

科目の目標	工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	教科書「工芸 I」(日本文教出版)
定期考査の実施	なし

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技	○	○	○
鑑賞		○	○
夏季休暇レポート		○	○
制作レポート	○	○	

指導計画

前期	4,5月	オリエンテーション ⑧ プラスチックと金属を使い、ペーパーウエイトを制作する。 有線七宝、蒔絵、螺鈿などの日本の伝統技法をふまえて。 鑑賞
	6月	⑨ 陶芸で実用的で線刻を施した器を制作する。 繰り返しの連続パターンをあしらって。 鑑賞
	7月	⑩ 寄せ木の箱を制作する。 色違いの木材を組み合せ、繰り返しのパターンを楽しんで。 鑑賞
	夏休み	⑪ 研究レポート作成 (宿題)
	8,9月	⑫ 寄せ木の箱の制作 続き
後期	10月	⑬ 寄せ木の箱の制作 続き
	11,12月	⑭ ろうけつ染めのハンカチを制作する。 日本の伝統的図案をモチーフにして。 鑑賞
	1~3月	⑮ 銅線でキーハンガーを制作する。 はんだ付けで自由な造形を楽しみ、金属への着色を施して。 鑑賞

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
書道 I	2	2	両学科両コース共通	選択

科目の目標	臨書を通じてさまざまな表現（書風、書体）を学習する。それにより培った技能を創作活動に生かす。創作作品では、紙面全体の工夫、その他に落款印や表装の重要性についても理解する。
使用教材	書道 I（東京書籍）
定期考査の実施	前期中間（ × ） 前期末（ × ） 後期中間（ × ） 学年末（ × ）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
臨書作品	○	○	○
創作作品	○	○	○
制作・鑑賞シート		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	内容
前期	4	漢字の書（篆刻）
	5	漢字の書（臨書）・漢字仮名交じりの書
	6	漢字仮名交じりの書
	7	
	8	漢字の書（臨書）
	9	
後期	10	漢字の書（臨書）
	11	
	12	漢字の書（創作）
	1	仮名の書
	2	仮名の書
	3	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語コミュニケーションⅡ	4	2	普通科両コース共通	必修

科目の目標	<p>①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについての理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>②コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的な話題や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えを的確に理解したり適切に伝え合ったりすることができるようにする。</p> <p>③コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的な話題や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりしようとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：「ELEMENT English CommunicationⅡ」・サブノート（啓林館）</p> <p>単語集：「システム英単語 5訂版」（駿台文庫）</p> <p>文法問題集：「Insight 英文法・語法・熟語問題集」（啓林館）</p> <p>長文問題集：「NEO 現代を見る」（いっぴな書店）「Viewpoint Advanced」（数研出版）</p> <p>リスニング問題集：「Listening &amp; Speaking Training Seminar 2」（Learn-S）</p>
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（○）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・課題テスト	○	○	
パフォーマンステスト		○	○
小テスト	○		○
週末課題			○
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主なテスト	ELEMENT 単元予定
前期	4	春課題テスト	Lesson 1 Cultures around the World
	5		
	6	前期中間考査・GTEC	Lesson 2 Power of Words
	7	実力テスト	Lesson 3 Preconception
	8	夏課題テスト	Further Reading 1 The True of the Bear behind Winnie-the-Pooh
	9	前期末考査	Lesson 4 The Century of War
後期	10		Lesson 5 How Our Minds Work
	11	実力テスト	Lesson 6 IT and Life
	12	後期中間考査	Lesson 7 Advances in Medical Technology
	1	冬課題テスト・実力テスト	Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise
	2	実力テスト	Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact
	3	学年末考査	Further Reading 3 Moufflon -The Dog of Florence

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語コミュニケーションⅡ	4	2	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	<p>①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについての理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>②コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的话题や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えを的確に理解したり適切に伝え合ったりすることができるようにする。</p> <p>③コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的话题や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考え等を的確に理解したり適切に伝え合ったりしようとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：「ELEMENT English CommunicationⅡ」・サブノート（啓林館）</p> <p>単語集：「システム英単語 5訂版」（駿台文庫）</p> <p>文法問題集：「Insight 英文法・語法・熟語問題集」（啓林館）</p> <p>長文問題集：「NEO 現代を見る」（いっぴいな書店）「Viewpoint Advanced」（数研出版）</p> <p>リスニング問題集：「CNN Workbook Extended Course 2026」（朝日出版社）</p>
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（○）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・課題テスト	○	○	
パフォーマンステスト		○	○
小テスト	○		○
週末課題			○
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主なテスト	ELEMENT 単元予定
前期	4	春課題テスト	Lesson 1 Cultures around the World
	5		
	6	前期中間考査・GTEC	Lesson 2 Power of Words
	7	実力テスト	Lesson 3 Preconception
	8	夏課題テスト	Further Reading 1 The True of the Bear behind Winnie-the-Pooh
	9	前期末考査	Lesson 4 The Century of War
後期	10		Lesson 5 How Our Minds Work
	11	実力テスト	Lesson 6 IT and Life
	12	後期中間考査	Lesson 7 Advances in Medical Technology
	1	冬課題テスト・実力テスト	Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise
	2	実力テスト	Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact
	3	学年末考査	Further Reading 3 Moufflon -The Dog of Florence

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論理・表現Ⅱ	2	2	普通科両コース共通	必修

科目の目標	① 設定された場面や状況において他者にとって興味深い発信となるように、既習の背景知識や言語材料を用いて、質疑応答や論理に基づいた意見交流をすることができる。 ② 日常的または社会的な話題について、既習の表現を理解し、それらを駆使して、論理的に発信する技能を身につける。 ③ 基礎的な内容の英文を既習の文法や語彙を適切に用いて書くことができる。
使用教材	教科書：『Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace』（啓林館） 副教材：『入試必携 英作文 Write to the Point』（数研出版）、『Vision Quest 総合英語 Ultimate』（啓林館）
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（○）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
パフォーマンス課題	○	○	○
ライティング課題	○	○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	指導計画（指導内容など）	
			Vision QuestⅡ Ace	Write to the Point
前期	4	春課題確認テスト	Lesson 1 将来の目標（語句選択） Lesson 2 学校生活（動詞）	
	5	遠足	Lesson 3 スポーツ（時制） Lesson 4 情報化時代（助動詞） Lesson 5 環境問題（追加情報1）	
	6	前期中間考査・球技大会	Lesson 6 文化（追加情報2） Lesson 7 言語教育（追加情報3）	
	7	実力テスト・夏季進学補習	Lesson 8 社会（情報伝達） Lesson 9 願望（条件と仮定を表す）	
	8	夏課題テスト	Lesson 10 科学技術（数量） エッセイ・スピーチ原稿作成	
	9	文化祭・前期末考査	Lesson 11 健康（比較を表す） Lesson 12 ビジネス（否定を表す） スピーチコンテスト講座内予選	
後期	10	秋季休業・研修旅行・体育祭		Unit 1 A 主語の決定(1) Unit 2 A 主語の決定(2) Unit 3 A 目的の表現
	11	実力テスト		Unit 4 A 理由の表現

			Unit 5 A 時制(1) Unit 6 A 時制(2) 授業内スピーチコンテスト
12	後期中間考査・冬季進学補習		Unit 7 A 動詞の語法 Unit 8 A 関係詞
1	冬課題確認テスト・実力テスト		Unit 9 A 時間の表現 Unit 10 A 数字の表現 Unit 11 A 仮定・条件 基本
2			Unit 12 A 仮定・条件 応用 Unit 13 A 比較の基本
3	学年末考査		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
Expression Skills	2	2	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	① 設定された場面や状況において他者にとって興味深い発信となるように、既習の背景知識や言語材料を用いて、質疑応答や論理に基づいた意見交流をすることができる。 ② 日常的または社会的な話題について、既習の表現を理解し、それらを駆使して、論理的に発信する技能を身につける。 ③ 基礎的な内容の英文を既習の文法や語彙を適切に用いて書くことができる。
使用教材	教科書：『Vision Quest English Logic and Expression II Ace』（啓林館） 副教材：『入試必携 英作文 Write to the Point』（数研出版）、『Vision Quest 総合英語 Ultimate』（啓林館）
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（○）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
パフォーマンス課題	○	○	○
ライティング課題	○	○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	指導計画（指導内容など）	
			Vision Quest II Ace	Write to the Point
前期	4	春課題確認テスト	Lesson 1 将来の目標（語句選択） Lesson 2 学校生活（動詞）	
	5	遠足	Lesson 3 スポーツ（時制） Lesson 4 情報化時代（助動詞） Lesson 5 環境問題（追加情報1）	
	6	前期中間考査・球技大会	Lesson 6 文化（追加情報2） Lesson 7 言語教育（追加情報3）	
	7	実力テスト・夏季進学補習	Lesson 8 社会（情報伝達） Lesson 9 願望（条件と仮定を表す）	
	8	夏課題テスト	Lesson 10 科学技術（数量） エッセイ・スピーチ原稿作成	
	9	文化祭・前期末考査	Lesson 11 健康（比較を表す） Lesson 12 ビジネス（否定を表す） スピーチコンテスト講座内予選	
後期	10	秋季休業・研修旅行・体育祭		Unit 1 A 主語の決定(1) Unit 2 A 主語の決定(2) Unit 3 A 目的の表現
	11	実力テスト		Unit 4 A 理由の表現

			Unit 5 A 時制(1) Unit 6 A 時制(2) 授業内スピーチコンテスト
12	後期中間考査・冬季進学補習		Unit 7 A 動詞の語法 Unit 8 A 関係詞
1	冬課題確認テスト・実力テスト		Unit 9 A 時間の表現 Unit 10 A 数字の表現 Unit 11 A 仮定・条件 基本
2			Unit 12 A 仮定・条件 応用 Unit 13 A 比較の基本
3	学年末考査		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (総合的な探究の時間)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
Global CitizenshipⅡ	2	2	両学科	必修

科目の目標	<p>(1)自分を取り巻く環境と自己との関係を理解するとともに、地域と地球のつながりを踏まえて国際社会の一員であることを自覚し、自由の意味や価値を捉えながら、自他ともに自由で幸福な生活を送ることができる共生可能な社会の実現を志向する。</p> <p>(2)自分の身近な事象に関心を向け、よりよい自己や学校生活、地域社会及び地球社会の実現に向けた課題を設定し、情報を吟味・分析して解決の方向性を構想するとともに、自他ともに自由で幸福な社会の実現に向けた具体的な一歩を構想し、粘り強く追究する。</p> <p>(3)自分を取り巻く世界のよりよい在り方を志向し、国際社会の発展、多文化共生及び自然との共生を視野に入れながら、自他ともに自由で幸福な生活を送ることができる社会の実現に向けて、よりよい自己の在り方を省察し、社会の中に主体的に位置付ける。</p>
使用教材	紫野高校オリジナルテキスト
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭学習課題と課題の修正	○	○	○
レポート・パフォーマンス課題	○	○	○
学習計画表・振り返りシート			○

指導計画

時期	No.	単元	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	社会と私 [関心と社会をつなぎ、「自由の実現」へ向かう自分の方向性を見いだす]	動名詞リスト・職業リスト・オリジナル職業ワークシート、対話シート、振り返り記述用紙
	2	GC 探究(先行研究を調べる) [問いと仮説をもとに、「自由の実現」につながる形を具体的に探究する]	文献検索ガイド、先行研究整理シート、参考文献リスト記入用紙
6～9月 (前期末考 査まで)		GC 探究(問いと仮説を立てる)	問い作成ワークシート、仮説構築シート、テーマ整理表
GC 探究(仮説を検証する)		検証計画シート、実践／実験／調査記録用紙、進捗管理シート	
GC 探究(成果をまとめ改善する)		レポート構成テンプレート、発表スライドテンプレート、原稿作成シート、教員コメントシート	
10～12月 (後期中間 考査まで)		GC 探究(成果を発表し深める)	発表評価シート、質疑応答記録シート、フィードバック記入用紙
12～3月 (学年末考 査まで)	3	GC 探究(Web 論集で発信する)	レポート最終稿テンプレート、編集チェックリスト、Web 掲載用フォーマット
		人生の指針形成 [幸福の基準を見つめ直し、自由と幸福の関係について考え、これからの生き方の軸を言葉にする]	幸福に関する理論資料、ブロックを用いた内省ワーク、対話記録シート、指針記述ワークシート